

ライフコースで異なる高血圧の発症機序～胎児期から高齢者まで



藤田研究室 (臨床エピジェネティクス)

<http://www.c-epi.rcast.u-tokyo.ac.jp/>

高血圧は最も頻度の高い病気ですが、症状がなく、放置すると心筋梗塞、脳卒中を引き起こし、死に至らしめることから、サイレントキラーと呼ばれています。

高血圧の原因は食塩の摂り過ぎが関係していますが、食塩に対する血圧の反応性には個人差(食塩感受性)があり、食塩感受性が高い人は高血圧になりやすく、遺伝と共に環境要因が関与していることが分かってきました。ライフステージ毎に探求した高血圧の成因をご紹介します。

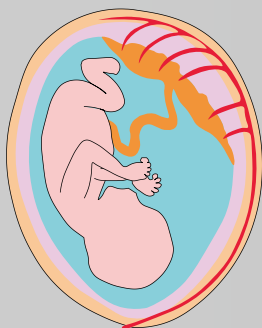
胎児期

母体低栄養

母体のストレスホルモン
に胎児が暴露

脳内の高血圧遺伝子の
修飾変化

成人後に高血圧発症



高齢者

抗加齢因子Klothoの減少

食塩摂取時に
血管収縮性が亢進

高血圧発症

